

高知のキャリア教育(高等部)

- ◇自己理解の深化と自己受容
- ◇選択基準としての勤労観・職業観の確立
- ◇将来設計の立案と社会的移行の準備
- ◇進路の現実吟味と試行的参加

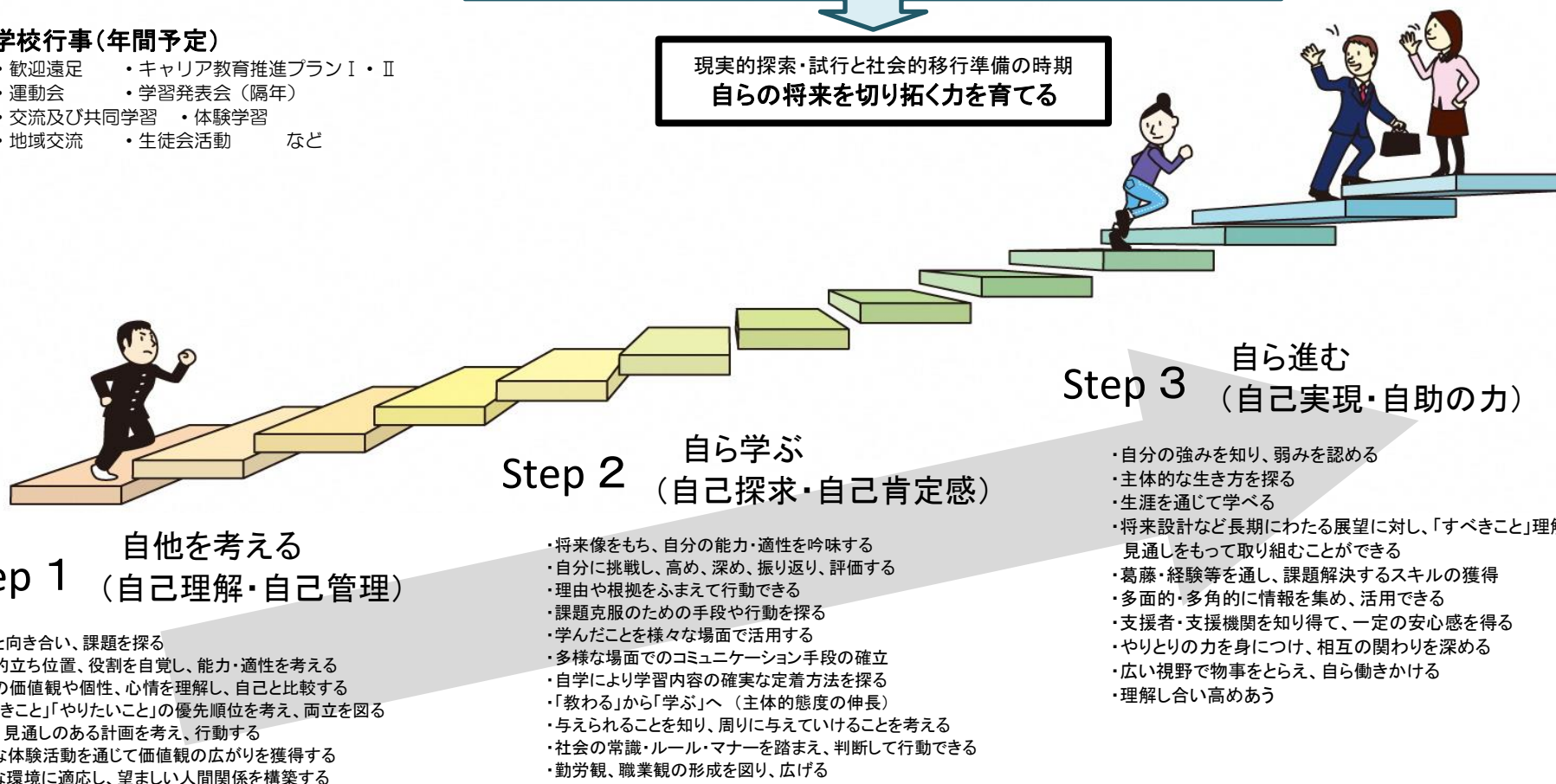
本年度の教育重点目標 高等部

- ①学習意欲の向上と学習習慣の確立を図り、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ②社会人として必要な基礎的知識と技能を習得し、課題解決に取り組む力を養う。
- ③周囲の状況を把握して、他者の立場からの視点で物事を考える態度を育てる。
- ④豊かなコミュニケーションを基盤として、主体的に社会参加することができる力を養う。

学校行事(年間予定)

- ・歓迎遠足
- ・キャリア教育推進プランⅠ・Ⅱ
- ・運動会
- ・学習発表会(隔年)
- ・交流及び共同学習
- ・体験学習
- ・地域交流
- ・生徒会活動
- など

現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
自らの将来を切り拓く力を育てる



キャリア教育の事例

中学部キャリア教育の事例も含め...

学力向上...将来の仕事に役立つ知識・技術の学習(学ぶ・働く理由、必要な支援を適切に求めたり相談できる表現力、チームワーク、プレゼンテーション) 自分史(行動パターン、価値観、個性、能力、夢や希望) 自己の進路を考える自己啓発(様々な職業の存在、インタビュー、情報探索、雇用形態、就業体験学習、進路学習会、資格検定試験への挑戦、模擬試験、学力補習) 自己の進路を開拓する自己実現(会社・大学等訪問・お礼状作成、進学・就職に向けたスケジュール、求人票チェック、企業・大学等チェック、会社・大学等訪問、履歴書、就職試験・面接に向けて、社会人としての意識と態度、学ぶことの重要性)

基本的生活習慣の確立...人権教育 健康教育(調理学習、危険認知、性教育、医療、事故、災害、余暇・地域生活、ストレスの解消) TPOに応じた言動 社会人としてのマナー 進路先・職業生活に必要な習慣形成

社会性の育成...法や制度の理解(障害について、福祉制度、就労支援施設、障害者福祉のしおり、行政サービス、障害者の雇用の促進等に関する法律[障害者雇用促進法]、労働基準法、就労や生活に関する関連機関など) 消費生活の理解(労働と報酬の関係、計画的な消費、金銭管理) 自己理解(障害の理解、自分の適性と進路選択、進路希望調査、職業適性検査、職業ガイダンス) 自己調整(課題解決の為の選択肢の活用、自己PR、ライフプランの作成、豊かな人間関係を築くために)